



市報 こだいら

平成28年(2016年)

2/5

第1397号



ぶるべー



携帯電話用



スマートフォン用

公共施設 マネジメント 特集号

発行：小平市 編集：企画政策部行政経営課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp ◇小平市公式ツイッター @kodaira_tokyo

公共施設マネジメント基本方針を策定

基本
理念

いつまでもわくわくする場を みんなで創ろう

小平市の公共施設は、急激に人口が増加した1960年代から1970年代にかけて集中して整備し、平成25年度(2013年度)現在で、その数は180施設、延べ床面積は約31万㎡となっています。

これら公共施設の老朽化が進む中、少子高齢化の時代を迎え、子や孫といった将来世代まで持続可能で、誰もが期待や希望を抱くことができるような時代の変化に対応した場が求められています。

こうした状況を踏まえ、市制施行100周年に向けた「次なる豊かさ」を実現するための取り組みの一つとして公共施設マネジメント基本方針を策定しました。

この基本理念は、市民会議で出たアイデアを基に決定しました。



市民会議の様子

方針
1

魅力あるサービスの実現

時代やニーズの変化を的確にとらえ、新たな価値を創造し、満足度の高い魅力あるサービスの実現を目指します。

方針
2

持続可能な施設総量

公共施設の延べ床面積を縮減するなどの効果的な対応により、行政需要や財政規模に見合った将来世代まで持続可能な施設総量や配置の適正化を図ります。

方針
3

コストの縮減と平準化

将来世代の大きな財政負担としないように、公共施設の整備や維持管理等のすべてのコストの縮減、平準化を図ります。

方針
4

長く活用できる施設

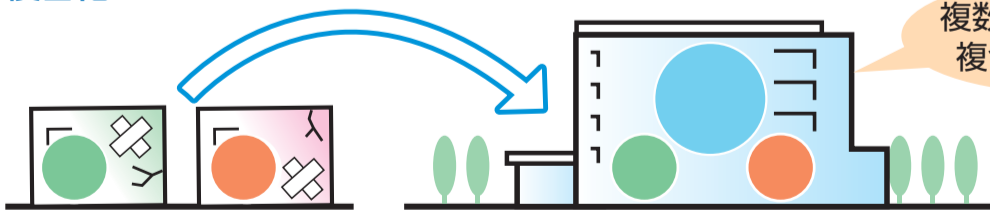
可変的な施設づくりや適切な保全を実施し、安全・安心な施設を維持することにより、保有する施設を長期的に活用するとともに、防災、環境、福祉などの対応を図ります。

- 平成74年度(2062年度)までの47年間で延べ床面積を20%以上縮減
- 大規模改修等の見直し ●管理運営コストの見直し

取り組み方策の例

施設の状態などに合わせて、次のような方策を実施します。

●複合化 (異なる種類の公共施設を統合)



複数の公共施設の複合化イメージ



小川町一丁目地域センター・児童館

●広域連携 (複数の自治体による協力)



●公民連携 (行政と民間のパートナーシップ)

